

# 大阪市立 弁天小学校

所在地 〒552-0007 港区弁天2丁目9番35号  
TEL 06-6573-5812  
FAX 06-6574-6489  
校長名 光井 栄雄 (みつじ よしお)



## 学校の紹介・校長メッセージ

本校は、昭和45年4月、児童数が増加していた波除小学校と磯路小学校の2校それぞれの校区の一部が分離再編され、1・2年生431人で開校しました。昭和49年4月には全学年がそらい、全校児童1172人にのぼり、3月には初めての卒業生として184人を送り出しました。その後の人口の減少に伴い児童数も徐々に減り、現在は389人(5月現在)の児童が一緒に学んでいます。開校当時は、校区の弁天埠頭はフェリー乗り場として使用されており、大阪港の玄関口として栄えていましたが、時代とともに、高層ビルがそびえ立つ近代的な街並みへと変化する中、令和元年6月に創立50周年を迎えました。令和2年2月には屋上にプール

が設置された新体育館が完成し、「地域の宝である弁天っ子たちが、都会の中でも、自然に触れることができるように」という地域の方々の協力によりできた弁天山や十字池、メダカ池なども含め、充実した教育環境が自慢の学校になりました。そんな、地域の方々の思いのたぐさん詰まった学校を、次の3つの言葉を校訓として、正面玄関を入ったところに石碑を立てて教育活動を進めています。この言葉はコミュニケーション能力の育成、協働力と自ら学ぶ意欲の向上につながるものでもあり、次世代を担う子どもを育む基礎となっています。

### 校訓

「もちまえ」 (自分のよき特性を發揮)  
「きんろう」 (協力や奉仕の喜び)  
「つながり」 (相互のあたたかい連携)

## 弁天小学校のめざす学校

### 学校目標

「生きる力」をはぐくみ 人間性豊かな子どもを育てる

校訓をもとに、上記のような学校目標に向かって、子どもと学校・家庭・地域が連携した学校づくりに取り組んでいます。

## 未来の弁天っ子へのメッセージ

弁天小学校には、春になると咲き誇る桜並木だけでなく、十字池とメダカ池があり、初夏には水蓮の真っ白い花やメダカを中心としてそこに生息する様々な水生生物、四季折々の植物観察のできる弁天山と素晴らしい自然環境の元、生命の大切さについて学ぶことができます。弁天っ子は、広い運動場や講堂、新体育館も含めて、そんな恵まれた自然環境の中、毎日元気いっぱい活動しています。

生成AIの急速な発達など社会情勢が大きく変化している今、新しい社会を生き抜く子どもを育むため、弁天山に長く伝わる校訓をもとに、「個の特性を尊重し生かす合う」やスポーツをすることは好きですが、課題解決に向かう力や育むための活動をしています。そして、「自他を大切にしながら、これからの国際社会を『地球人』として共に生きる力を育む』そんな学校をめざします。そんな学校と一緒に作っていきませんか。



## 運営に関する計画

### 【安全・安心な教育の推進】

●年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(前年度1.92%)  
●教育アンケート(児童用)における「自分から進んであいさつをしている」の項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。(前年度81.8%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

●教育アンケート(児童用)の「算数の授業は好きですか」の項目において学校全体での肯定的な回答をする児童の割合を前年度より向上させる。(前年度75.5%)

### (小学校学力経年調査における)

●学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。(前年度38.8%)  
●運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好む」と回答する児童の割合を72%以上にする。(昨年度70.7%)

### 【学びを支える教育環境の充実】

●授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を利用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)	
国語	算数
59	53

〔国語〕学習指導要領の内容別に見ると、「知識・技能」の「情報の扱い方に関する事項」では、大阪市、全国平均正答率を上回るが、「思考・判断・表現」の「A話すこと・聞くこと」については、特に下回り、課題が残る。また、漢字の問題については正答率が低く、他の問題に比べて無解答率が高い。  
〔算数〕学習指導要領の領域別に見ると、「A数と計算」「B図形」「C変化と関係」「Dデータの活用」領域について大阪市、全国平均正答率を下回り、課題が残る。  
〔今後の取り組み〕

を有効活用する。教育コーディネーターによる国語科・算数科の授業参観を計画的に実施することで授業改善を図り、児童が「わかった、できた」を実感できるようにする。  
○学びの定着：学びコラボレーターや学びサポーターによる放課後学習支援(放チャレ)を実施することで児童の学力の底上げを図る。  
○学習意欲の向上：「大阪市の学力向上支援事業」を活用し、4・5・6年生全員が漢字検定を受検する。受検に向けて学習意欲を高めるよう取り組みを見直していく。  
○個を尊重する教育：児童の自尊感情を高めるための取り組みとして、他者から称賛される機会を増やす。(タイピング大会や読書表彰など)

○基礎学力の向上：「学力向上支援チーム事業(重点支援)」

## 令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	16.04	20.00	38.46	43.79	43.08	9.34	150.96	24.13	55.67
女子	15.39	19.32	46.13	40.81	38.74	9.50	152.21	14.47	58.46

本校では、休み時間に外で元気よく遊ぶ児童が季節を問わず多くいる。そのような中で、より運動に興味関心をもたせるために11月から12月にかけて「弁天アスレチック」の取り組みを実施した。運動場の一角を防球ネットに囲い『立ち幅とび・一輪車・竹馬・30m走・ボール投げ・握力測定・縄跳び・反復横とび・ラダートレーニング・雲梯・上り棒』ができるように場を設定し、各学年に時間を割り当てた。児童は大変意欲的に参加し、自身の記録が伸びるのを楽しんでいた。また、2月は「なわとび月間」とし、休み時間に運動場で大縄・短なわを楽しんだ。

令和6年度については、大阪市や全国に比べて運動の総時間数が多い児童が多い結果であったが、運動が好きで週当たりの運動時間が多い児童と、そうではない児童の二極化は依然として課題である。

今後は、上記のような体力向上の取り組みをさらに進め、児童が楽しく運動ができる環境づくりに力を入れたい。また、業間遊び、体育的行事、体育科学習などを工夫することにより、体を動かすことの楽しさを味わわせ、生涯において運動に関わる意識を培い「運動が好き」な児童の育成をめざしたい。

## 1年間の主な行事

4月	入学式	1学期始業式	1年生を迎える会
5月	運動会		
6月	5年臨海学習	新体力テスト	
7月	プール開き	期末個人懇談会	1学期終業式
8月	2学期始業式		
9月			

10月	6年修学旅行
11月	全校遠足 学習発表会
12月	期末個人懇談会 2学期終業式
1月	3学期始業式 6年生卒業遠足
2月	学習参観・懇談会
3月	卒業を祝う会 卒業式 修了式

### 修学旅行 広島平和公園



6年生は修学旅行で、平和について学習するため、広島平和記念公園を訪問し、原爆資料館や慰霊碑をめぐります。また、大久野島に宿泊して、自然体験活動も行います。

### 全校『学び合い』



本校では平成25年度より『学び合い』の活動を行ってきました。全員が課題を達成できるように協力します。異なる学年が、同じ場所で学ぶ活動は本校の特色ある取り組みの一つです。

### 全校遠足(弁天フレンズ活動)



弁天フレンズ班は、1年生から6年生が1年間共に活動するたてわりの班です。毎年、秋の遠足で長居公園や大阪城公園に出かけます。6年生のリーダーを中心に楽しく活動します。